

授 業 科 目 名	量的調査分析				
担 当 教 員	古村健太郎				
学 期	後期	曜日・時限	火曜日 3・4時限	単位	2単位
地域志向科目	該当 する ・ <u>しない</u>				
【授業としての具体的到達目標】 社会科学における実証研究で利用されるデータ解析手法や統計分析のためのソフトについて習熟することを目標とする。					
【授業の概要】 社会科学における実証研究で用いられるデータ解析手法について、統計分析ソフトRを用いて実際にデータ解析を行いながら学んでいきます。					
【授業内容予定】 第1回：オリエンテーション 第2回：データの入力と記述統計量 第3回：2つの変数の記述統計量 第4回：2変数の相関 (1)：クロス集計表と ϕ 係数, クラメールのV 第5回：2変数の相関 (2)：様々な相関係数 第6回：母集団と標本, 統計的仮説検定 第7回：二つの平均値差の比較 第8回：分散分析 第9回：前半のまとめと復習 第10回：効果量 第11回：サンプルサイズの決定 (1) 第12回：サンプルサイズの決定 (2) 第13回：対応分析 (1) 第14回：対応分析 (2) 第15回：対応分析 (3) * 受講生の関心や理解状況によって内容を変更することがあります。					
【教材・テキスト】 山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎(2008). Rによるやさしい統計学 オーム社					
【参考文献】 授業で適宜紹介していく。					
【成績評価の方法および採点基準】 発表と議論の内容に基づいて評価を行う。					
【授業形式・形態および授業方法】 担当する学生が分析方法とRの使い方について発表し、それにもとにして展開してく。					
【留意点・予備知識等】 各自ノートパソコンを準備し、講義に持参してください。 また、学部卒業レベルの統計学の知識があるという前提で授業を行います。そのため、統計学の知識に不安のある受講生は、その部分を自習する必要があります。					
【オフィスアワー】 火曜日5・6時限とする。他の時間帯も問い合わせがあれば、可能な限り対応する。					